

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	LX16	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.490	△RG	0.053	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール：LX16**

フレアーの幅  インチ

PAPからピンとの距離  インチ

5-1/4

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

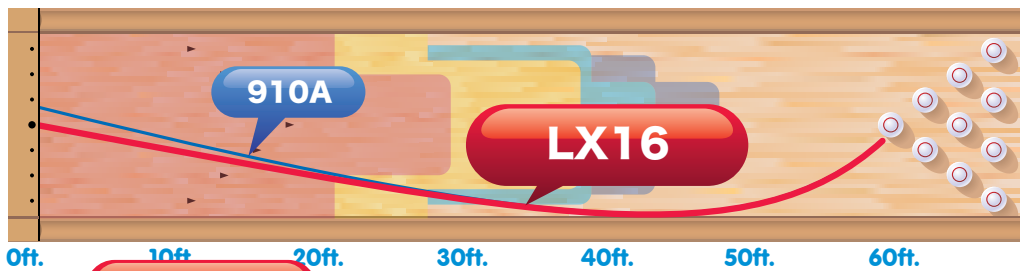
**比較対照ボール：910A**

フレアーの幅  インチ

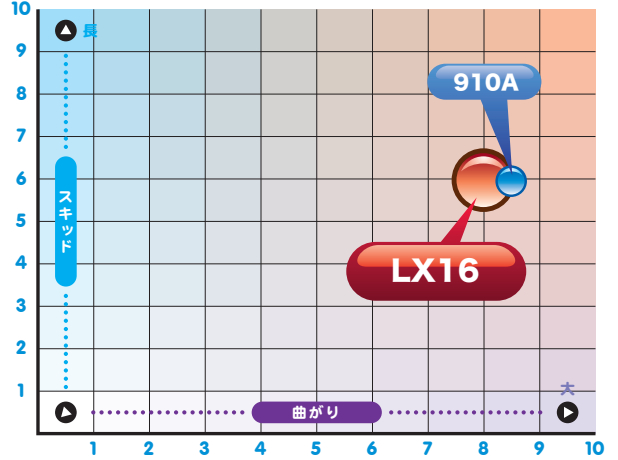
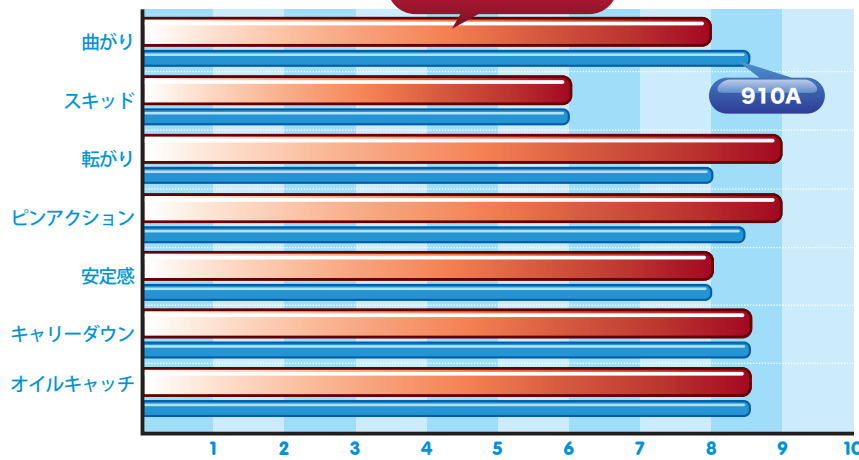
PAPからピンとの距離  インチ

5

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

### ボールの評価

TRACK社は2009年6月、ボールのパフォーマンスをナンバーシステムにし、リアクション特性やInt Diffを組み入れながら独自の表記で行って来ました。そして開発コンセプトの変更の一環としてボウラーのタイプを3つに大別し、LOW REV、MID REV、HIGH REV 各々の領域で、例として"LV16"、"MV16"、"HV16"等、下二桁はInt Diffを表すのは現行のシステムと同様になっています。これからさまざまな表記でさまざまな特性のボールを提供できる予定ですが、LOW REV(Lで始まる表記)はキャッチが強めで曲がりが出やすい傾向であり、HIGH REV(Hで始まる表記)はある程度スキッド系に属しているのではないかと、私達ボールテスターもこの先のTRACK社のボールにわくわくしています。

なぜならば今回ご紹介するLX16は、今までのTRACK表記の中ではキャッチ系に属すると思うのですが、しっかりとオイルを捉えているのにスキッドし、バックエンドでのシャープな動きが特徴となっています。今までのボールで「どのボールと似ているのだろう？」とさまざまな領域のボールと比較投球しても、オイルの捉え方とバックエンドの動きは今までにない性能分布で、まず真っ先に感じるのは「バックエンドモーションがシャープである」ということ。今までに感じたことのない性能であるからこそ、またそれを表現できるようになったからこそTRACK社は新たな表記で方向性を示そうとしたのだと私はテストングして感じました。400A SEあたりから新たなカバーストックやケミカルの開発が進んで来ています。その結果はHookからRollにおけるリアクション特性を変え、今までのコアであっても動きそのものを変える事もできるようになるでしょう。まずはこのLX16でパフォーマンスを確認してください。

### 特記事項

**パフォーマンス表記が変わった第一弾は"LV16"。**  
**キャッチしながらスキッドし、先での動きが今までと一味違う切れ味を持ちます。**